

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【1】	あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施
------	-----	---------------------------

施策の内容	DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力を許さないという意識を社会全体で共有するために、様々な機会を通じて年齢層にあわせた広報・啓発活動を行います。
-------	---

90		数値目標	《指標》デートDVも含むDV防止に関する啓発活動の実施回数 ※()は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			年6回	(年8回) 年13回	(年8回)	(年9回)	(年9回)	(年10回)	年10回
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・11月にパープルリボンキャンペーンを実施（街頭キャンペーン、図書展示、暴力をなくすためのメッセージ発信など）。 ・市内高校などにおいて、デートDV防止のためのパネル展を開催。 								
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動の実施回数8回。 								
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・パープルリボンキャンペーンを実施。 ・街頭キャンペーン3か所（JR丸亀駅、フジグラン丸亀、ゆめタウン丸亀） ・デートDVパネル展示7か所（四国職業能力開発大学校、丸亀高校、飯山高校、丸亀城西高校、岡田・飯山北コミュニティセンター、市役所本庁） ・パープルリボンツリー展示・メッセージの発信2か所（中央図書館、市役所本庁） ・コミュニティバス（14台）内でのパープル・オレンジリボンを使った啓発実施（1回） 								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	市内の高校や大学校、駅、図書館など様々な場所でDV（デートDV）の啓発を行うことにより、少しずつDVやパープルリボン運動について理解が広がっている。パネル展実施時のアンケート結果によると、回答者数124人の内、「パネルの内容が分かりやすかった」と回答した人75.0%。また、コミュニティバス内での啓発について、啓発期間にバスを利用した人31人の内、「チラシの掲示を知っていた」と回答した人61.3%。								
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発方法や啓発場所を工夫しながら継続的にパープルリボンキャンペーンを実施していく必要がある。 ・より広がりを持った啓発活動とするために、関係団体などと連携しながら行うことも必要。 								

91		数 値 目 標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・DVやセクシュアル・ハラスメントなどの認識を高めるために「女性に対する暴力をなくす運動」期間にキャンペーングッズ等を配布し啓発活動を行う。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間やその他の機会を捉えてキャンペーングッズ等を配布し啓発活動を行う。 ・DVネットワーク会議を開催し、連携体制の再確認と担当の意識啓発を行う。 							
H29 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に児童虐待防止とDV防止をコラボし、ゆめタウン丸亀とフジグラン丸亀の2か所同時にキャンペーングッズ等を配布した。また、男女共同参画室よりオレンジリボン・パープルリボンを装飾したツリー展示を行い、コミュニティバスへの広告やパネル展などで意識啓発を行った。 ・DVネットワーク会議を1回開催し、連携体制の再確認と担当の意識啓発を行った。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	DV防止の啓発品がより多くの人目に触れることができた。 DVネットワーク会議を行ったことで、それぞれの役割や行っていることの情報共有ができ、DV対応について意識啓発ができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	啓発品が目に残る程度の人も多いので、さらに意識啓発に結びつくよう、繰り返し啓発していくことが課題である。 DVネットワーク会議では、単なる情報交換だけでなく、もっと具体的な対応について踏み込んだ協議ができるようにすることが課題である。							

92		数 値 目 標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や園行事、保護者会・PTA活動等の様々な機会を通して、あらゆる暴力を許さないという意識が持てるよう啓発を行う。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・資料回覧や掲示、配布物等での啓発活動を積極的に行う。 ・子どもたちには、日々の保育を通して、具体的な場面での暴力を許さないという意識を年齢に応じた分かりやすい言葉で教え、指導していく。 ・人権における会合や啓発活動で、友だちや周りの人と仲良くすること、自分も他人も傷つけてはいけないことを、劇や表現、あそび等を通して指導する（年1～2回）。 							
H29 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権課に依頼して出前講座を実施し、保護者への啓発を行った。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	家庭教育学級時に人権研修を行い、日常生活におけるあらゆる暴力を許さないという意識をもつ機会となった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	より多くの保護者に参加してもらえよう、日程調整や実施計画を工夫していく必要がある。							

93		数 値 目 標						
担当課	環境安全課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	・安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、関係機関と連携し、暴力の現状などについて情報共有を行う。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・男女共同参画室、子育て支援課から現状報告を受け、安全安心まちづくり協議会を年1回開催。警察、防犯協会、教育委員会、学校、地域などとの情報共有を行う。							
H29 事業実績	5月に「安全安心まちづくり推進協議会」を開催。防犯対策をはじめ交通・地域など幅広い項目について報告、協議を行った。暴力・DVについて報告はなかった。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	安全安心まちづくり推進協議会で、情報共有することで、地域・学校等様々な団体の方にも丸亀市の状況を周知できた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	DVネットワーク会議でも、暴力行為が起こる前に対応することが難しいことがわかり、それぞれが未然に防ぐための啓発をしていくことが課題である。							

94		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	・望ましい人間関係についての学習を進める等、発達段階に応じた人権教育を推進し、充実させる。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・各学年に応じた望ましい人間関係についての学習を進められるよう、各校の年間計画の中に人権尊重の視点に立った教育を必ず位置付ける。							
H29 事業実績	・各校の年間計画の中に人権尊重の視点に立った教育を位置付け、計画的に指導した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・望ましい人間関係についての学習が、発達段階に応じて、進められていることにより、あらゆる暴力のない社会を望ましいと感じる気持ちの育成につながった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・今後も各校の実情に合わせた人権教育の推進が必要がある。							

施策の内容	暴力に対する抑止力となるよう、地域の意識を高めるような啓発活動を行います。							
	95	数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・コミュニティを対象として開催する男女共同参画セミナーのテーマの一つに「DV防止」を設定。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・2コミュニティで実施。							
H29事業実績	男女共同参画セミナーのテーマの1つに「DVを許さないという意識の醸成」を設定し、垂水コミュニティにてセミナーを開催。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	地域の方にゆっくりとDVについて話す機会は少ないので、このようにセミナーという形でDVの基礎知識や対策、相談窓口等について伝えられたことは有意義であった。DVDを利用し、子育て支援課の職員からも詳しい説明をしてもらえたので、参加者にじっくりと聞いていただけた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	今年度実施したセミナーでは行政からの一方的な情報提供しかできなかったので、参加者が思いを話せるような時間を持つことも必要である。また、開催コミュニティの数を増やすことも課題である。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【1】	あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施
----------	-----	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B	市内の高校や各種施設におけるパネル展の開催や、街頭キャンペーンによりDVをはじめとする様々な暴力に対する市民の意識は広がりを見せている。
子育て支援課長	B	子育て支援総合相談窓口「まる育サポート」を通年で開設した。また、窓口連絡協議会を設置し、今後の関係機関の連携の基盤づくりを行うなど、徐々にではあるが様々な子育て家庭の相談全般に対応できる体制ができつつあると考えている。
幼保運営課長	B	保護者に対しては、保育参観や園行事、PTA活動等の様々な機会を通して、啓発活動を行うことができた。また、子どもたちに対しては、日々の保育の中で、暴力を許さないという意識を年齢に応じた分かりやすい言葉で教え、指導していた。今後は、より多くの保護者に研修等の機会を提供し、参加してもらえるような計画を工夫していく必要がある。
環境安全課長	B	関係者の中で情報の共有が図られ、暴力を許さない意識の醸成が促進された。
学校教育課長	B	人権に係る様々な課題に対し、教育活動の様々な場面を通して、発達段階に応じた人権教育を行っている。各校とも年間計画に人権教育を位置づけ、実情に合った目標等を立てることにより、着実に効果的な指導ができている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	様々な課が周知・啓発している点は評価できるが、周知方法が組織・団体などの代表者が参加する会が中心であることから、広く住民へ周知する一工夫を組み入れるよう望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【2】 女性相談窓口の周知
------	---------------

施策の内容	イベントや研修会の場などで相談窓口の周知を行うとともに、民間店舗などに相談カードの設置などについて協力を求めます。
-------	---

96		《指標》相談カード・シールの設置か所数 ①公共施設 ②民間施設 ※()は当該年度の目標値							
担当課	人権課男女共同参画室	数値目標	H28	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			①24か所 ②2か所	(①26か所) (②40か所) ①24か所 ②26か所	(①30か所) (②80か所)	(①34か所) (②120か所)	(①38か所) (②160か所)	(①40か所) (②200か所)	①40か所 ②200か所
			《指標》DV相談の窓口として、次の相談先を知っている人の割合 ①丸亀市女性相談 ②香川県子ども女性相談センター						
			H27	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
				(①50.0%) (②50.0%)	-	-	①50.0% ②50.0%		

H29 事業計画	①相談窓口の電話番号を記載したシールを作成し、民間店舗にシールの貼付を依頼する。 ②暴力防止のための啓発を行う際に相談窓口の周知を行う。
----------	---

H29事業計画に関する具体的な目標	①公共施設26か所、民間施設40か所。 ②啓発活動を8回実施。
-------------------	------------------------------------

H29 事業実績	①公共施設24か所、民間施設26か所（市内のスーパーを中心に配付。主に女子トイレの目線の高さの位置で、目につきやすいところに貼付した。） ②啓発活動を13回実施。街頭キャンペーンを3か所で実施した際に、相談窓口を記載した啓発グッズを合計900個配布。相談窓口についても記載したデートDVパネル展やそのほかの展示を10か所で実施。
----------	---

目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	今年度新たに民間店舗（市内のスーパー中心）に相談窓口のシールを配付したり、キャンペーンの回数を増やしたりしたことにより、相談窓口についてより多くの方に周知できた。
---------------------------	---

事業の実施状況を踏まえた課題	今年度の目標としていた設置箇所数に達することができなかった。引き続き、イベント、セミナー等での相談窓口の周知に努めるとともにシール貼付場所を増やしていくことが課題である。キャンペーン実施やシール貼付場所の増加については関係団体などと連携しながら行う必要がある。
----------------	--

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【2】 女性相談窓口の周知
----------	---------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B	今年度新たに民間店舗（市内のスーパー中心）に相談窓口のシールを配付したり、キャンペーンの回数を増やしたりしたことにより、相談窓口についてより多くの方に周知できた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	周知方法として民間施設を活用し、広がりを見せているのは評価できる。効果測定のため、相談者からの聞き取りを行うなど、現状の周知方法以外の手法も研究すること。また、あらゆる会合の機会を利用して相談カードの存在をPRしたり、男性トイレへのシール貼付協力要請を行うことを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶 《重点目標》

《目指すまちの姿》
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	[3] 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施
------	---------------------------

施策の内容	被害者を発見する可能性の高い保育士や教職員、救急隊員などに理解を促し、日常業務の中で被害者が早期に発見されやすい環境づくりに努めます。							
	97	数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・8月に実施する男女共同参画職員研修において、DVに関する情報提供や相談窓口の周知を行う。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・研修の際に、DV相談窓口カードやDVについての資料を配布し、説明を行う。							
H29事業実績	男女共同参画職員研修のテーマを“子どもに対する暴力や性暴力”とし、性暴力被害の実態や予防教育の重要性について研修を行った。また、DVに関する基礎知識や丸亀市の相談窓口を記載した資料を配布した。(8月4日に実施。保育士と教職員が30人参加)							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	被害者と接する可能性の高い保育士や教職員などにDVや性暴力等について正しい知識を身につけていただくことができ、教育の重要性を理解していただくことができた。アンケート結果によると、回答者数61人の内、研修内容が「よかった」と回答した人80.2%							
事業の実施状況を踏まえた課題	今後も男女共同参画職員研修を継続し、DVに関する情報や相談窓口の周知を毎回行う必要がある。また、研修時のほかにも、モデル保育所の保育士に対してや、保育所長会・園長会、校長会などの機会に伝えるなど、周知機会を増やしていくことが必要である。							

施策の内容	民生委員・児童委員や人権擁護委員に対し、被害者の早期発見などについて、理解と協力を求めます。							
	98	数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・丸亀市人権擁護委員連絡会において、「第3次プラン」で「配偶者などからの暴力の根絶」を重点目標としていることなどを周知。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・1回以上周知。							
H29事業実績	6月21日に開催した丸亀市人権擁護委員連絡会において周知を行い、人権擁護委員と意見交換を行った。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	人権擁護委員の方に、男女共同参画社会の形成のためには「配偶者などからの暴力の根絶」が前提であること、そのため市としては今後5年間の重点目標としていることを伝えることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	繰り返し、民生委員・児童委員や人権擁護委員に働きかけることが必要である。特に民生委員については、役員だけでなく、民生委員全員に働きかけることができるような機会をつくる必要がある。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【3】 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施
------	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B	DVネットワーク協議会の開催により、関連団体との連携が図られている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	相談を受ける職員、窓口業務を行う職員が感度を上げて被害者救済へつなげられるよう、複数回研修をし、個々の職員能力が深化するよう工夫することを望む。関係機関への情報提供については、周知内容が情報提供に留まることなく、普段から気をつける意識づけとなるよう工夫を凝らすことを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【4】	相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実
------	-----	---------------------------

施策の内容	被害者の人権に配慮した対応を行うように、相談員の資質向上に努めます。
-------	------------------------------------

99		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	・相談員の資質向上に向けて、県が行う相談員の研修会及び事例検討会へ参加する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・県が行う相談員の研修会及び事例検討会へ積極的に参加する。							
H29 事業実績	・県が行う事例検討会に4回、専門職研修に11回、市町担当者会に1回参加し、更に外部機関の研修会にも1回参加した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	研修で得た知識によって、具体的なケースへの対応に生かすことができた。制度の趣旨が良く分かり、役割を認識できた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	様々なパターンのケースが増えてきているので、適切な対応をするためにはあらゆる研修に参加することが望ましいが、その時間を確保することが課題である。							

施策の内容	相談員のメンタルヘルスカケアを行うなど、一人で抱え込むことのない体制をつくります。							
	100	数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談員が一人で抱え込んでしまわないために、週1回のミーティングを行い、困難なケースはチームで取り組みながら、意見交換しやすい環境を作る。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 月2～4回のミーティングを行い、困難なケース等の状況をチームで把握。対応したケースも常に報告しあうなど、意見交換をしやすい環境を作る。また、対応に苦慮した場合は、まる育サポートの専門相談員に相談するようにし、相談員のストレス緩和に努める。 							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 毎月2～4回のミーティングを定期的に行った。また困難なケース等は上司の指示を仰ぐなど、課全体で取り組んだ。 							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人と定期的に話し合うことで、相談員の負担軽減となった。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 心理的負担に対してアドバイスできる専門相談員への相談があまりできず、ストレス解消までは至らなかった。意見交換しやすい環境づくりが課題となる。 							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【4】 相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実
----------	-------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援 課長	B	家庭児童相談室を中心に対象家庭の訪問や啓発活動に年間を通して計画的に取り組み、一定の成果を挙げることができたと考えている。今後も、西部子ども相談センターなどの関係機関と連携を強化して、児童虐待の防止に努めていきたい。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	身近な相談窓口を担っている自覚を常に持ち、日々の研鑽に努めてほしい。そのうえで、地域へ直接出向くなど、情報収集力アップを図り、機能向上させる手立ての検討も望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【5】	相談室の整備
------	-----	--------

施策の内容	被害者のプライバシーが守られ、落ち着いて相談できる相談室を整備します。
-------	-------------------------------------

101		数値目標	現状値	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
担当課	子育て支援課			/	/	/	/	/	/
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎構想の段階で相談室のコンセプトを提示する。 								
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の近くでの設置を3室提案する。 								
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎構想の中に、他課との共有ではあるが、プライバシーが守られる個室について十分な数の確保ができた。 								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	新庁舎では安心して相談ができるスペースが確保できたことで、被害者に安心感が生まれる。								
事業の実施状況を踏まえた課題	新庁舎が出来るまでの間、現在の点在している相談室を利用する際、プライバシーを配慮する対策が課題である。								

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【5】	相談室の整備
----------	-----	--------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援 課長	B	庁舎再編に伴い、DV被害者の相談にも対応できる相談スペースを確保する方向で協議を進めている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	相談室の確保に留まることなく、相談しやすい体制づくりなど、工夫点・改良点がないか常に考え、取り組んでいくことを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号 【6】 DV被害者が一時的に避難できる場所の確保

施策の内容 緊急に保護を求めてきた被害者が、一時保護が行われるまでの間、一時的に避難できる場所を、香川県子ども女性相談センターや警察と連携しながら確保します。

102		数値目標						目標値
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	H31	H32	
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 被害者の安全確保のため、スムーズに一時保護が行えるよう、県や警察との連携を強化する。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 被害者の安全確保を第一に考え、スムーズに一時保護が行えるよう、県や警察との連携を図る。 							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 県や警察と連携を取りながら、スムーズに被害者を保護することができた。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	スムーズに保護できたため、被害が最小限で収まった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	シェルターが県内に1か所しかないため、満床時の受入対応に何らかの形でシェルターを確保することが今後の課題である。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【6】 DV被害者が一時的に避難できる場所の確保
----------	--------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援 課長	B	DV被害者が避難できる場所の確保については、県や警察との協力体制を確立し、スムーズな措置を行うことが最重要であり、現時点ではこれに沿った対応ができていると考えている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	市として取り組める手立て・方策はないのか、常に意識し、今後も事業に取り組むよう望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【7】 DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
------	---------------------------------------

施策の内容	被害者の立場を十分考慮したうえで、自立した生活に向けた支援を行います。
-------	-------------------------------------

103		数値目標	現状値	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
担当課	人権課男女共同参画室								
H29事業計画	・「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」、「DV対策ネットワーク会議」において、暴力の実態や対応に関して庁内関係各課や関係機関と情報共有を行い、共通認識を持てるようにする。								
H29事業計画に関する具体的な目標	・「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」（1回参加）と「DV対策ネットワーク会議」（1回開催）において、情報共有を行う。								
H29事業実績	6月29日開催の「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」と、3月22日開催の「DV対策ネットワーク会議」において、関係各課・機関の取組内容や課題について情報共有を行った。								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	暴力及びいじめの被害者の関係機関が集まり、定期的の実態把握や情報交換を行うことにより、あらゆる暴力の共通性への理解と、その根絶のために連携した対応が必要であることへの理解につながっている。								
事業の実施状況を踏まえた課題	暴力の実態について共通認識を行うため、また、対応する際に連携がうまくとれるように、会議を継続的に開催するなどして関係者の“顔の見える関係”をつくっていくことが必要である。								

104		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・自立のために最低限必要な住居と生活資金を確保するため、各関係機関の情報を収集し、連携を強化していく。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・DV被害者の自立に向けた支援について、県と十分な連携を図り、公共施設管理課、社会福祉協議会、福祉課及び学校教育課の協力を得ながら対応していく。							
H29事業実績	・DV被害者の自立に向け、公共施設管理課、福祉課の協力を得て被害者の自立を支援した。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	他市でのDV被害者であるため遠方の居住地を探していたことから、丸亀でのスムーズな対応で安全の確保ができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	公共施設管理課が用意している施設は一時的なDV支援住宅であることから、半年後の居住地を見つけなければならない。また、就労先も探さなければならないが、DV被害者は精神的な被害を被っていることからなかなか積極的に動けず、それらの有効な支援策が今後の課題である。							

105		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
施策の内容	男性被害者への支援の方法を検討します。							
H29事業計画	・男性からの相談も受ける「かがわ男女共同参画相談プラザ」を周知する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・市ホームページによる発信1回。							
H29事業実績	「かがわ男女共同参画プラザ」の周知を継続した。しかし、周知に当たっては、「男性からの相談も受ける」ということを積極的に広報することができなかった。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	男性被害者への支援にはほとんどつながっていない。							
事業の実施状況を踏まえた課題	男性も利用しやすい相談窓口の設置と周知が課題である。							

106		数 値 目 標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	・男性への支援ができる情報を収集する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・県への協力を仰いでいく。							
H29 事業実績	・県の子ども女性相談センターを紹介する。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	相談先を紹介することで、ひとまずの安心を与えることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	男性の相談を受けることも今後の課題である。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【7】 DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
----------	---------------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	C	ネットワーク会議を通じた情報の共有はできているが、被害者への支援という点では、今後の施策について再検討していかなければならない。
子育て支援課長	B	実際のDV被害者に対して、支援住宅に入居させ、安全を確保するなどの措置をスムーズに行うことができ、その結果、被害者は精神的な安定を取り戻している。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
C	支援のためのネットワークが、本当の意味での被害者支援をできるよう、連携方法、協議の仕方など、再度確認し、実効性ある取り組みを実践していくよう望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。